

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	5. 農林水産業費	事業名	2. 畜産総合対策事業費			
項	1. 農業費	細事業名				
目	4. 畜産業費	担当課・係	農政課	(執行課: 農政課)		

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	1,800	要 求									1,800
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	創造性と活力にみちたまちづくり / 農業の活性化と農村環境の保全されたまちづくり / 畜産経営の振興を図るため、機						
	【畜産総合対策事業に関する業務】	施策体系コード	04-01-01-30-50			事業番号	208-1		
	家畜排せつ物処理利用施設・機械の整備、畜産経営環境の改善、畜産生産基盤整備等について補助を行います。	総事業費	10,995千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
			2,085	2,085	2,085	2,940	1,800		
		(事業実施に関する根拠法令)							

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 畜産農家の健全かつ効率的な運営を図るため、畜産農家が実施する家畜排せつ物処理利用施設の整備・機械の整備・畜産ヘルパー利用などに対して、畜産組合連合会を通じて補助金を交付する。	(事業の目的) 地域社会と調和のとれた、健全かつ安定的な畜産経営の推進及び効率的な畜産経営の推進を図る。	(事業の効果) 地域環境と調和した健全な畜産経営の確立と、ゆとりとやりがいのある畜産経営の確立を図ることができる。
(事業実施上の問題点) 畜産ヘルパーの効率的な確保。	(前年度からの見直し点) ゆとりある畜産経営のための畜産ヘルパーの利用推進及び家畜ふん尿処理のための機械整備の充実を図る。	(見積についての特記事項) ゆとりある畜産経営のための畜産ヘルパーの利用推進及び家畜ふん尿処理のための機械整備を計上。